

「特集」

暮らしを支えるケアと 感染対策

2022年夏の新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の第7波は、これまでの波をはるかに上回る勢いを見せました。

その中で、「かつての流行期とは異なる体験をし、自事業所の備えとともに、地域その他職種・他事業所との連携強化の必要性を再認識した」という声が編集室に届きました。一体、どのような変化が見られ、どんな対応が求められているのでしょうか。

本特集は、2022年10月7日に収録した公開座談会「暮らしを支えるケアと感染対策——新型コロナ第7波からの学び」(『訪問看護と介護』編集室主催)の記録です。3人の講師がコロナ禍において、特に第7波以降の臨床現場において求められることを解説してくださいました。療養者の暮らしを支える温かなケアを継続していくためのアイデアが見つかるはずです。

実践! コロナの
自宅療養者への
訪問